

NPO 法人 さわやか出水女性の集い

出水市上大川内 31 - 3

発表者：矢 野 ミ ツ

皆様こんにちは。人と自然が融和した賑わいある元気都市、これが市のキャッチフレーズでございますが、皆様がたには、万羽鶴と武家屋敷でおなじみだと思います。北薩の人口 56 千人の出水市から参りました NPO 法人さわやか出水女性の集いと申します。本日は、このように素晴らしい賞をいただきまして感激いたしております。さわやかな皆さん、もらいました、イエーイ。



ボランティア活動を生涯学習・介護予防と位置づけまして、ボランティアの4つの精神である「無報酬性」「公共性」「自発性」「先駆性」の心を基本理念とし、女性の地位向上と明るく豊かな生きがいに満ちた地域づくり、まちづくり、子どもたちがきらきら光り輝き、高齢者が安心して暮らせる未来づくりに少しでも貢献したい。それが私たち大人としての責任である、義務であるという使命感の基にこの会を立ち上げて 12 年になります。

それから、がむしゃらに、ひたむきに、ほぼ毎日、ボランティア活動に取り組んで参りました。私どもは従来からある女性団体、後ろ盾があって色々お世話してもらう、そのような受け身の女性団体ではなくて、100%自立した、しかも分権型社会へ向かって地方から発信



できるような女性団体と思って一生懸命やってまいりましたが、残念なことに自主的団体、後ろ盾の無い団体に対しては信用がございません。正当な評価がなされない、情けない思いを一杯しました。そこで、5年前にNPO法人として再スタートいたしました。それと同時に空き店舗を活用し

❀ 活動事例（NPO 法人 さわやか出水女性の集い）❀

まして「さわやか出水きてきてサロン」をオープンしました。そこを拠点としまして子育て支援活動、高齢者活性化活動を両軸としまして色々なまちづくり、むらづくりのボランティア活動を続けて参っております。この5年間の私どもの活動を時間の許す限りお話させていただきたいと思います。

まず、にこにこ子育て相談を始めました。スタッフの中には、主任児童委員、教育委員、保健師、行政委員、看護師など色々おりますけれども、それ以上に、人生の達人ともいべき高齢者のノウハウを生かした子育て相談に対する対応が一番評判が良く、沢山の事例があり枚挙にいとまがございません。今でも出水のおばあちゃんとして、遠方から慕って駆けつけてくれるお母さん、子どもたちがいます。

- 親子で学び、遊びましょう。スタッフの中には色々な有資格者がおりますので、無料でお話ドレミ、英語で遊ぼう、着付け、茶道、手芸、踊り、エコ、お手玉遊びや季節ごとの誕生会などの教室を開き、指導しております。特に「読み聞かせ」「紙芝居」には力を入れてきました。さわやかは、読書活動推進優秀団体として表彰も受けました。出水市は読書活動日本一のまちづくりを推進して5年になります。それが国から認められ、溝口教育長が「国民の読書推進に関する協力者会議」の全国の委員 17 人の 1 人に選ばれております。出水市は、その読書活動で今年表彰を受けることになり、明日がその表彰式でございます。



- ヤングママ自主活動の拠点としまして、サロンで発達障害児をお持ちのママのスマイルサークルが発足しました。療育講演会をはじめ毎月色々な勉強会を開催し、さわやか が全面的にサポートしております。
- 日本の伝統文化を学ぶイベントを毎月開催しております。1月から初釜、節分、ひな祭り、野点、端午の節句、七夕、夏祭り、十五夜行事、地蔵祭り、餅つき、そば打ち体験などをさせておりました、自分の国・地域、人と人とのつながりを大切にする人になっ

てほしいとねがっております。

- 地域に学社連携、融合の場としては、教職員地域貢献体験のサロンとして、小中学校の先生や鹿児島大学・久留米大学より実習生がみえています。子どもたちの色々な作品や学校の沿革なども展示しまして、色々情報交換もしております。



- 生涯学習講座では、サロンを中心としてあちらこちらで講座を開催しております。男女共同参画研究会、健康体操、英語、手話などいっぱい行っておりまして、霧島、水俣、八代、東京都など県内外から沢山の方が視察にみえました。私、生涯学習のコーディネーターをし

ておりまして、今、特命広報大使という大役を仰せつかっております。いかがですか、通信教育で生涯教育のコーディネーターの資格をお取りになりませんか。

- ゴミ110番の家として、マイバッグ持参運動にも昔から取り組んでおります。石けん・EMボカシづくり、環境問題などの研修会も続けております。
- まちの駅の一員でもございまして、「心のオアシス駅」で私が駅長を拝命し、今まで市民シンポジウム、まちの駅九州大会などを開催しております。
- 観光客に湯茶接待として、武家屋敷で初釜、野点などの茶の湯のボランティアを続け

ておりまして、不肖私、下手なお琴を弾いております。また、シンガポール、ベトナム、台湾、香港など外国から大勢の修学旅行生が見えます。男子生徒には5月5日ののぼりはたの幟旗で作ったはっぴ法被を、女子生徒には浴衣を着せ、茶の湯のおもてなしをし、お土産にさわやかオリジナルの色紙を持たせています。昨年は200人の外国人の方のお世話をさせていただきました。



- 社会福祉協議会ボランティア登録団体として、施設等のボランティア、共同募金など

✿ 活動事例（NPO 法人 さわやか出水女性の集い） ✿

数多く協力しております。社協の先生方には大変お世話になっておりまして、私どもが自主的にこのようにボランティア活動を続けてこれたのもご指導の賜物と思っております。今日も前田先生が見えています。いつもありがとうございます。

- さわやか一座、旗揚げして9年になります。寸劇、踊りなどで慰問活動を続けています。市内外を問わず引っ張りだこでうれしい悲鳴を上げております。
- 健康料理教室パセリクラブ、これは月1回、減塩・地産地消の料理作りを続けておりまして、明日は、東出水保育園の子どもたち 100 人におやつ作りを指導することになっております。
- 女性団体連絡協議会の一員でもございます。17 の女性団体で組織され、情報交換やスキルアップのための女性大会の開催、行政のイベントでのボランティアには 120% 参加しているところでございます。

- ボランティアひまわり、これは社協のご依頼で定期的に月1～2回老人ホームを慰問して、もう8年になります。車椅子介助、話し相手などさせていただいております。



- また、定期的にフリーマーケットを開催してまして、不要品、リサイクル品、手芸品、農産物などを販売し、ボランティア活動の資金としております。

- 独立行政法人「福祉医療機構」高齢者と子どもの安全・安心を守る事業もいたしました。金融トラブル防止講座、詐欺防止寸劇、さわやかパトロール隊を発足させ、パトロール、清掃作業なども随時行っております。

- 子どもゆめ基金事業・高齢者と小学生で作る安全安心マップ作り、これは平成 21～23 年度、今年も実施中で出水市、阿久根市、長島町、伊佐市 10 校で実施しておりまして、全戸に無料でマップを配布しております。



○ 出水市NPO法人ネットワークが発足し、初代会長を仰せつかっているところでございます。

★ 私たちの無償の子育て支援の活動が実りまして、市民交流センターの中に子育て交流室を作って頂きました。行政の依頼で今、場所を空き店舗から子育て交流室に移しまして、ボランティア活動を続けています。もちろん、市からは1円の助成金もいただいておりません。反対に、市に40万円相当のおもちゃを寄贈しました。また、社協の前田先生のお力とヤングママの協力をいただき、子育て携帯マップ2種類4000部を市に寄贈しました。折ったり貼ったりは経費節減のため、スタッフが夜なべ作業をして作り上げまして、ヤングママに大変喜ばれております。

よそ者、ばか者、若者がまちづくりには欠かせないとある首長さんがおっしゃいましたが、私たちはさしずめそのばか者の団体だと思いますが、今の世の中に本当に必要なばか者だと思っています。情けは人のためならずと申しますが、私たちにとっては、人々の笑顔、喜び、感謝のことは、これが生きがいなのです。皆さん方がグラウンド・ゴルフをされるのと同じような意識でボランティア活動を続けています。



今後、ますますこの賞を励みに、ボランティアの王道をまっすぐ歩んで参りたいと思います。

さわやかさん、今後も頑張りましょう。イエーイ。ありがとうございました。

